

【資料4】提案書評価表

区分	分類	仕様書担当箇所	提案書目次	提案書記載事項	項目	評価項目	項目評価点	項目加重点	得点					
1.企業評価	共通項目	第1章 全体概要 各項 第2章 本調達の要件 第3項 機要件 第4項 情報セキュリティ要件 第14項 プロジェクト管理 第15項 会議体の運営	1-1.本業務への理解	<ul style="list-style-type: none"> 本調達の背景と目的についての解説を記載すること。 本調達の範囲を明確に定義すること。 学校における教育の情報化に関する今後の方向性を踏まえて、本市における現在から令和9年度までの教育情報ネットワークの移行と工程表を記載すること。 	①	本調達における本市の背景や目的を的確に理解しており、提案にあたっての基本的な考え方が本市と一致しているか。	5	4	20					
					②	本業務において、業務内容と仕様書に記載された要件を正しく捉えた提案となっているか。								
					③	実施範囲が網羅的に示されているか。								
					④	国(文部科学省)が示す教育の情報化の方針や本市のネットワーク環境および各システムの運用状況を正しく把握したうえで、今後の方向性を踏まえて本市にとって有益な提案となっているか。								
			1-2.プロジェクト実行体制	<ul style="list-style-type: none"> 実行性のあるプロジェクトとするために、分野ごとにカテゴリ分けし、カテゴリごとに機・導入体制を記載すること。 機・導入のための必要な調査・調整や会議体を計画すること。また、その体制には、実行力のあるリーダーとメンバーを配置し、その業務実績を記載すること。 運用後やフェーズにおいて、機・導入フェーズから円滑に移行するために、機・導入メンバーの参加やノウハウ引継ぎについての方針と方法を記載すること。 	①	本業務に携わるメンバーは、本業務の遂行に必要な経験と知識を有し、適切な業務実施が可能であるか。	5	4	20					
					②	本業務に携わるメンバーは、本業務の遂行に必要な専門知識を有し、適切な業務実施が可能であるか。								
					③	機・導入時に、既存システム等の動作に悪影響を及ぼさないよう事前十分な調査・調整を行うよう具体的に計画されているか。								
					④	保守工程期間や体制変更があった場合にも、機・導入時の協議事項、決定事項などが適切に理解され、認識不足によるミスや調査の遅延等が発生しないための提案が行われているか。								
			1-3.実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 分野ごとにカテゴリ分けし、カテゴリごとに実施スケジュールを記載すること。 	①	構築スケジュールが現実性の高いものとなっているか。	5	4	20					
					②	セキュリティインシデントを防止するための具体的な手法及び従事者に対する教育方法を記載し、それが有効に働く提案であるか。また、万一のセキュリティインシデントの発生に備え、被害規模や範囲を最小限に抑制する具体的なかつ有益な提案であるか。								
1-4.情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 本市の情報セキュリティポリシーに基づき、物理的、技術的、人的対策を実施することになるが、提案者の基本的な考え方、従事者の教育方法など、基本的な方針を記載すること。 本調達で導入するデータセンター(クラウドサービス)、ネットワーク、データ伝送等について、【別紙4】情報セキュリティ要件に基づいて、安全性について記載すること。 	①	情報セキュリティ要件を満たしている内容となっているか。	5	2	10								
		②	情報セキュリティ要件を満たしている内容となっているか。											
2.仕様内評価	アプリケーション	第2章 本調達の要件 第3項 機要件 第5項 導入要件 第7項 移行要件 第11項 教育要件	2-1-1.スペック	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェア、ソフトウェア、データセンター(クラウド)の選定理由を記載すること。 仮想基盤と仮想基盤上のシステムが停止することの無いように、あるいは停止を最小化するに、採用する技術とその採用理由について全て記載すること。 採用した製品・サービスの自治体での導入実績を記載すること。 	①	仮想基盤の選定理由及びサイジングの根拠が示されており、十分なスペックを提供しているか。	5	6	30					
					②	ハードウェアについて、導入実績の豊富な製品・サービスを選定しているか。								
					③	仮想化ソフトウェアについて、導入実績の豊富な製品・サービスを選定しているか。								
			2-1-2.冗長性・拡張性	<ul style="list-style-type: none"> 仮想基盤の構成について冗長性、拡張性も含めて図を用いて記載すること。 	④	FATファイルシステムからのレスポンスについて、構築実績等を踏まえて、具体的に提示されており、根拠が明確か。	5	2	10					
					⑤	仮想基盤に接続する回線、ネットワーク機器の性能は、教職員が利用する際にボトルネックにならないように、構築実績等を踏まえて、必要十分なものが選定されており、根拠が明確か。								
					⑥	単一障害点(シングルポイントオブ・フェイラ)がない構成を考慮した耐障害設計を行っているか。								
			2-1-3.構築	<ul style="list-style-type: none"> 採用した製品・サービスを用いた構築実績を記載すること。 	①	拡張性を考慮し、将来的に増設する方法が具体的に盛り込まれているか。	5	2	10					
					②	賃貸期間中、業務システム等が追加される場合において、柔軟に対応できる提案となっているか。								
			2-2-1.学校圏ローカルサーバ	2-2-1.学校圏ローカルサーバ	<ul style="list-style-type: none"> 現在の構成の解説及びそれを踏まえた本調達での構成とその理由を記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の構成の解説及びそれを踏まえた本調達での構成とその理由を記載すること。 	①	学校圏ローカルサーバの用途および運用に必要な十分なスペックを理解し、最適な構成を提案しているか。	5	2	10			
							2-2-2.学校圏ホームページシステム・学校圏グループウェアシステム・文書管理システム・校務支援システム・高校教務システム	<ul style="list-style-type: none"> 各システムについて現行システムとの連続性や差異を、機能面、画面イメージ等、具体的に記載すること。 				①	画面表示が分かりやすく、使用頻度の高い操作を簡便に行えるようデザインされているか。また、使いやすい工夫がなされているか。	5
②	既存システムの仕様と学校圏での運用を理解して提案できているか。													
③	現行システムと連携しているシステムに影響しない提案できているか。													
④	選定したアプリケーションの構築実績が十分か。													
2-2-3.メールセキュリティシステム	<ul style="list-style-type: none"> メール送信時のセキュリティ対策として新たに実装する機能とその特徴について具体的に記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> メール送信時のセキュリティ対策として新たに実装する機能とその特徴について具体的に記載すること。 					①	画面表示が分かりやすく、使用頻度の高い操作を簡便に行えるようデザインされているか。また、使いやすい工夫がなされているか。				5	2	10
							②	添付ファイル送信時のセキュリティ対策が効果性の高いものとなっているか。						
							③	選定したアプリケーションの構築実績が十分か。						
2-2-4.コンテンツフィルタリングシステム	<ul style="list-style-type: none"> 現在の構成の解説及び本調達での構成とその理由を記載すること。 校務用VDRのフィルタリングについて、現在の構成を踏まえて、対応方法を記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の構成の解説及び本調達での構成とその理由を記載すること。 校務用VDRのフィルタリングについて、現在の構成を踏まえて、対応方法を記載すること。 					①	導入するコンテンツフィルタの具体的な用途と必要性をわかりやすく提案しているか。				5	2	10
							②	端末を含む現行環境への影響が最小化できているか。本市の負担が少ない提案となっているか。						
			③	選定したアプリケーションの構築実績が十分か。										
2-2-5.シングルサインオンシステム	<ul style="list-style-type: none"> 現在の構成の解説及びシングルサインオンを実現する仕組みとその選定理由を記載すること。 シングルサインオンの対象システムを記載すること。また、認証フローを説明して具体的に記載すること。 システムを導入することにより、改善されることを具体的に記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の構成の解説及びシングルサインオンを実現する仕組みとその選定理由を記載すること。 シングルサインオンの対象システムを記載すること。また、認証フローを説明して具体的に記載すること。 システムを導入することにより、改善されることを具体的に記載すること。 	①	システム選定理由が妥当か。	5	2	10							
			②	独自システムが抱えるリスクを解消できる内容となっているか。										
			③	システム導入による改善される内容が効果的かつ具体的なものとなっているか。										
2-2-6.メールシステム及び中継メールサーバ	<ul style="list-style-type: none"> メールフローについて、送受信のフローを網羅的に図を含めて記載すること。 行政圏のメールアドレス(city sakai.jp, city sakai.nagaoka.jp)とのメール送受信について、送信時のメールセキュリティの動作も考慮して、対応方針を記載すること。 利用先端末のOutlook等の設定について、対応内容を記載すること。 中継用メールサーバの構成の考え方を記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> メールフローについて、送受信のフローを網羅的に図を含めて記載すること。 行政圏のメールアドレス(city sakai.jp, city sakai.nagaoka.jp)とのメール送受信について、送信時のメールセキュリティの動作も考慮して、対応方針を記載すること。 利用先端末のOutlook等の設定について、対応内容を記載すること。 中継用メールサーバの構成の考え方を記載すること。 	①	メール送受信フローのフローが網羅的かつ適切に検討されているか。	5	6	30							
			②	Outlookの設定方法が具体的かつ本市に負担が少ない内容となっているか。										
			③	メールシステムの構成の根拠が明確であり、適切に検討されているか。										
2-2-7.統合ID管理システム	<ul style="list-style-type: none"> 統合ID管理システムへの入力及び出力の対象となるシステムと具体的なデータフローを記載すること。 本システムを導入することにより、改善されることを具体的に記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 統合ID管理システムへの入力及び出力の対象となるシステムと具体的なデータフローを記載すること。 本システムを導入することにより、改善されることを具体的に記載すること。 	①	ユーザ管理の業務フローを正確に捉え、課題を解決する提案となっているか。	5	2	10							
			②	現行の運用を大きく変えずユーザ管理のシステムを導入し、さらに効率化が図れている(現行の連携先システム事業者における運用の変更がない)。										
			③	選定したアプリケーションの構築実績が十分か。										
2-2-8.仮想基盤へのシステム・データ移行	<ul style="list-style-type: none"> 再構築対象の全てのシステムについて網羅的にデータ移行を含む移行方法を記載すること。 以下については、具体的な移行手順を記載すること。 [インターネット回線・ドメイン移行] [AD, DNS移行] 採用した製品・サービスを用いた仮想基盤への移行実績を記載すること。 その際、移行前と移行後に利用していた仮想化ソフトウェアもしくはクラウドサービス等を記載すること。 仮想基盤への移行という観点で、実績に基づいたノウハウを記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 再構築対象の全てのシステムについて網羅的にデータ移行を含む移行方法を記載すること。 以下については、具体的な移行手順を記載すること。 [インターネット回線・ドメイン移行] [AD, DNS移行] 採用した製品・サービスを用いた仮想基盤への移行実績を記載すること。 その際、移行前と移行後に利用していた仮想化ソフトウェアもしくはクラウドサービス等を記載すること。 仮想基盤への移行という観点で、実績に基づいたノウハウを記載すること。 	①	想定リスクの洗い出しが出来ており、リスク対策が盛り込まれているか。	5	10	50							
			②	現在本市が利用している仮想化ソフトウェアから今回採用する製品・サービスを用いた仮想基盤への移行実績を十分に有しているか。										
			③	現在本市が利用している製品・アプリケーションから本調達で導入する製品・サービス・アプリケーションへの移行実績を十分に有しているか。										
			④	インターネット回線・ドメイン移行後、安定したネットワーク環境を提供できる提案となっているか。										
			⑤	ネットワーク切り替え・データ移行の考え、手法について具体的な記載があり、安全に切り替えを行う提案ができており、現行システムへの影響を最小化できているか。										
			⑥	移行作業に係る本市と受注者との役割について明記されており、本市の負担が少ないものとなっているか。										
2-2-9.クラウドへのメールシステム・データ移行	<ul style="list-style-type: none"> 電子メールのクラウドへの移行について、移行するデータと移行方法について具体的に記載すること。 オンプレからクラウドへの移行という観点で、実績に基づいたノウハウを記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子メールのクラウドへの移行について、移行するデータと移行方法について具体的に記載すること。 オンプレからクラウドへの移行という観点で、実績に基づいたノウハウを記載すること。 	①	移行方法に実現性があるか。	5	4	20							
			②	教職員の負担を少なく移行できる具体的な提案となっているか。										
			③	データ移行できるもの、できないものが明らかにされているか。また、データ移行できないものについて、その代替案が提案されているか。										
2-2-10.システム習熟	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の習熟のための教育(研修)方針について、全システム網羅的に記載すること。また、その立案から評価に至るまで、本市とないに協議することを記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の習熟のための教育(研修)方針について、全システム網羅的に記載すること。また、その立案から評価に至るまで、本市とないに協議することを記載すること。 	①	教職員がシステムの操作について、契約期間を通じて、習熟できるような提案がされているか。その企画・運営に本市との協力を位置づけているか。	5	2	10							
			②	サービスのアップデートに対応したサポートを提供できるか。										
			③	新管理職、新規採用者、人事異動者を考慮した、教育(研修)方針となっているか。										

運用保守	第2章 本調達の要件 第4項 情報セキュリティ要件 第12項 運用要件 第13項 保守要件	2-3-1.サポートデスク・運用作業	<ul style="list-style-type: none"> ・本調達で実施する運用作業について情報セキュリティ対策も含め、一覧で記載すること。また、運用に係る本市との調整や本市への依頼事項についても記載すること。 ・届付ファイル送信時の承認者設定について、作業内容と対応方針を記載すること。 ・コンテンツフィルタリングにおけるフィルタリング解除の今後の運用について、考え方やその理由を記載すること。 ・サポートデスクの運用時間、運用体制、運用作業について具体的に記載すること。 ・今後のサポートデスクの在り方について、本調達での包括内容も踏まえて、考え方を記載すること。 ・本調達対象システムに係る年次更新作業について、作業内容と対応方針を記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 受注者が実施する運用作業について、情報セキュリティ対策及びフィルタリング解除も含めて明確となり、本市の負担が少ないものとなっているか。 ② 教職員の負担が少なく、混雑を招かないようにサポートデスクを整備できるか。また、手厚いサポートができる十分な体制を有しているか。 ③ 導入直後や繁忙期など問い合わせが多数発生するタイミングを考慮した提案になっているか。 ④ 本市学校園からの問合せ内容を踏まえ、確実にナレッジを蓄積し、活用できるものとなっているか。また、そのナレッジ活用が示されているか。 ⑤ 問合せへの回答や連絡保守対応等について、「1次サポートで解決した割合」等のKPIを設定し、それに基づく業務改善プロセスが示されているか。 ⑥ 現行の運用を大きく変えずユーザ管理を行い、さらに効率化が図れているか。 	5	8	40
		2-3-2.監視・障害対応	<ul style="list-style-type: none"> ・監視の対象、監視の内容、監視の方法について、わかりやすく整理し、記載すること。 ・監視で検知時、現場からの不調連絡時、など、障害発生のパターンを整理し、各々のパターンについて、対応フローを登場人物も含めて記載すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 監視方法が具体的に示されており、実効性のある提案となっているか。 ② 監視で検知時、現場からの不調連絡時、など、障害発生のパターンによって、対応フローが明確かつ、迅速に対応できるものとなっているか。 ③ 障害が発生した場合において、学校現場への影響を低く抑えることができる提案となっているか。 ④ 障害が発生した時、十分な支援を行い、実績等からくるノウハウにより問題を早期に解消する、実効性のある提案となっているか。 	5	4	20
3.追加提案	追加提案 第1章 全体概要 各項 第2章 本調達の要件 第2項 業務要件	3-1.本市の課題に対する提案	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の本市の課題に対して、提案事項を記載すること。 [教育データ利活用] ・提案に留めるものと、実装するものとのラベル付けを行うこと。 	① 本市の課題や国の動向や他自治体の導入事例などを踏まえ、効果的な教育データの利活用に向けて有益な提案となっているか。	5	2	10
			<ul style="list-style-type: none"> ・以下の本市の課題に対して、提案事項を記載すること。 [不調連絡システム] ・提案に留めるものと、実装するものとのラベル付けを行うこと。 	① 本市の課題を理解し、有益な提案となっているか。	5	2	10
			<ul style="list-style-type: none"> ・「仕様書 第2章 2業務要件 (4)今後の方向性」に記載の、【アクセス認証モデルを前提としたネットワークへの移行】に向けて、段階的なステップとなるよう十分に考慮したうえで提案事項を記載すること。 ・提案に留めるものと、実装するものとのラベル付けを行うこと。 	① 本市の今後の方向性を理解し、有益な提案となっているか。	5	2	10
		3-2.その他の追加提案	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、本市にとって有益な提案があれば提案内容を記載すること。 ・提案に留めるものと、実装するものとのラベル付けを行うこと。 	① 追加提案の内容が具体的かつ必要性が明確(無駄のないもの)になっているか。	5	2	10
評価点(合計得点)							400